

# AED(自動体外式除細動器)を用いた救命手当の手順

1.肩をたたきながら声をかける。



2.反応がなかったら、大声で助けを求め、119番通報とAED搬送を依頼する。



「人が倒れています。誰か来てください！」  
あなた119番通報してください。  
「あなたはAEDを持ってきてください。」

3.気道確保と呼吸の確認

気道確保し、「普段どおりの息」をしているかを10秒以内で確認します。



4.普段どおりの息がなかったら、人工呼吸を2回行う

1秒かけて、胸の上がりが見える程度の量を2回吹き込みます。



5.人工呼吸が終わったらすぐに胸骨圧迫

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返して行います。

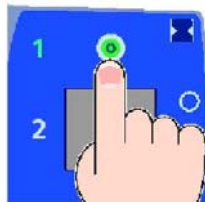


胸骨圧迫の位置は胸の真ん中

早く・強く・絶え間なく  
圧迫解除は胸がしっかり戻るまで!

6.AEDが到着したら

まず、電源を入れます。



ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。

7.電極パッドを胸に貼る



電極パッドを貼る位置は電極パッドに書かれた絵のとおり、皮膚にしっかりと貼ります。  
体が汗などで濡れていたらタオルで拭き取ってください。

※ 小児には、小児用パッドを貼ります。小児用パッドがなければ、やむを得ず成人用パッドを代用します。  
※ 乳児に対して、AEDは使用しません。

8.電気ショックの必要性をAEDが判断する

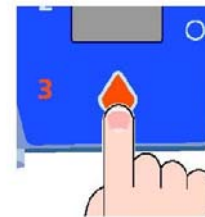


「患者に触れないでください。」  
「離れて！」

心電図解析中及び電気ショックを掛けるときは、誰も傷病者に触れてはいけません。

9.ショックボタンを押す

誰も傷病者に触れていないことを確認し、点滅しているショックボタンを押します。



以後は、AEDの音声メッセージに従います。  
心肺蘇生とAEDの手順は、救急隊に引継ぐか、何らかの応答や目的のある仕草(例えば、嫌がるなどの体動)が出現したり、普段どおりの息が出現するまで続けます。

心肺蘇生対象	胸骨圧迫 :人工呼吸	人工呼吸			胸骨圧迫			テンポ
		送気量	送気時間	送気回数	圧迫位置	圧迫法	圧迫の強さ	
成人 (8歳以上)	30:2	胸の上がりが見える程度の量	約1秒	2回	胸骨の 下半分	両手	4~5cm	約100回/分
両手または片手						胸の厚みの1/3まで圧迫		
乳児 (1歳未満)					両乳頭を結ぶ線より足側	2指		